

				部会名	しごと
施策No.	1-1-2	施策名	担い手の育成	施策主管課	農林水産部農政課
■内部評価について					
①成果指標の妥当性について	<p>「担い手への農地集積率」だけでは不十分である。この数値は、「担い手の経営規模がどの程度かを示す指標である。施策の目指す姿は、「農業の担い手が育っています」となっているので、全担い手数(個人、組織、法人)の数値も記載すべきである。これを加えることによって、成果の要因分析が可能になるのではないか。例えば、農地集積率の上昇と担い手数の減少は、担い手の経営規模の拡大を意味するだろう。しかし、農地集積率の上昇と担い手数の増加は、必ずしも担い手の経営規模の拡大を意味しないであろう。</p>				
②施策の総合的な評価について	<p>国の施策の請負でしかないような印象を受けてしまう。この施策を補う花巻市の独自事業についての説明も含めてほしい。</p>				
③事務事業構成の妥当性について	<p>農地有効活用事業における花巻農業振興公社負担金の妥当性を補足する資料が説明の際に必要である。</p>				
④シート記載内容について	<p>施策の目指す姿にある「農業の担い手」について、一般にイメージするものと異なっているので、詳しい定義を明確にしてほしかった。</p>				
■その他					
⑤評価シートの構成・項目について	<p>追加資料として提示された「花巻市の概要(農業)」のデータが必ずしも最近のものではないので、内部評価の妥当性を評価する客観的なデータがあればよいのではないかと。</p>				

				部会名	しごと
施策No.	1-2-1	施策名	技術力・経営力の向上	施策主管課	商工観光部商工労政課
■内部評価について					
①成果指標の妥当性について	<p>・「市の支援により技術力・経営力の向上に取り組んでいる企業の割合」という項目では不十分である。</p> <p>施策の結果、「技術力・経営力が向上した企業数」(具体的に競争力強化がはかられた企業、経営状況が改善した企業)という項目を作成して、記載すべきである。もちろん、本施策との因果関係が見極めづらいということもあるのであるが。</p> <p>・施策の取り組むべき課題・実績との関連で、成果指標項目を追加すべきである。</p> <p>例えば、産学共同・資金調達企業数、産業支援アドバイザー・専門アドバイザー派遣を受けた企業数、支援制度説明会参加企業数 など</p>				
②施策の総合的な評価について	<p>・アドバイザーの具体的事例があれば、内部評価の妥当性を検証しやすいのではないかと。ほか、企業がスピーディーにアドバイザー制度を利用しやすい仕組みを構築し、周知を図ってほしい。</p> <p>・支援制度の周知の徹底が必要であることは理解できる。その方策について様々な工夫が必要ではないか。</p> <p>例えば、企業訪問しているが、その際に、企業のニーズの優先順位をつけてヒアリングし、技術開発 ○件、販路開拓 ○件、人材育成 ○件というように、企業のニーズを具体的に把握してほしい。</p> <p>また、市内の企業団体を通じての支援制度の周知、支援制度を利用した企業の事例の紹介等を通じて、施策の周知をすべきである。</p>				
③事務事業構成の妥当性について	<p>妥当である。六次産業化との関連で、他課との連携ができる部分があれば明示してほしい。</p>				
④シート記載内容について	<p>妥当であるが、内部評価を評価するにあたっては、数値だけではなく事例紹介を含んだ具体的な資料の提示があればよい。</p>				
■その他					
⑤評価シートの構成・項目について	<p>・妥当であるが、内部評価を評価するにあたっては、数値だけではなく事例紹介を含んだ具体的な資料の提示があればよい。</p> <p>・六次産業化の関係で、行政の縦割りの壁があらうかと思うが、新しいシステムの構築をしてはどうか。</p>				

			部会名	暮らし	
施策No.	2-1-2	施策名	自然環境の保全	施策主管課	生活福祉部生活環境課
■内部評価について					
①成果指標の妥当性について	<ul style="list-style-type: none"> •成果指標の「自然環境を守るための行動を実際に行っている市民の割合【市民アンケート】」は、時間を掛けて根付いていくもののため、目標に向けて徐々に目標値が上がっていくのは適切である。 •成果指標がアンケート結果によるもの場合は、アンケートの母数(配布数や回収数など)の説明が必要ではないか。 				
②施策の総合的な評価について	<ul style="list-style-type: none"> •個々の事業の評価となっている。事業を連携させてトータルで評価して良いのではないか。 •指導、規制しているという印象を受ける。啓発活動への評価があっても良いのではないか。 				
③事務事業構成の妥当性について	<ul style="list-style-type: none"> •施策の目標を達成するために構成する事業として、適切であると思うが、個々の事業が縦割りであり、連携がないのではないか。 •個々の事業貢献度ではなく、事業を連携させることにより、全体をとおした評価ができるのではないか。 •事務事業の「公害防止対策事業(河川水質測定事業)」の貢献度が「A」となっているが、水質検査をすることが施策の目指す姿に大きく貢献しているとは言えない。測定・指導が目的ではなく、目指す姿への貢献度が必要である。 				
④シート記載内容について	<p>「6 施策の総合的な評価」について、成果の記述が少ない。今後の見通しを判断するためにも成果をもっと記述すべきではないか。</p>				
■その他					
⑤評価シートの構成・項目について	<ul style="list-style-type: none"> •成果指標がアンケート結果によるもの場合は、アンケートの母数(配布数や回収数など)の説明が必要ではないか。 •成果の達成度について、もっと分かりやすく記述があったほうが良い。 				

				部会名	暮らし
施策No.	2-5-3	施策名	障がい者福祉の充実	施策主管課	生活福祉部地域福祉課
■内部評価について					
①成果指標の妥当性について	<ul style="list-style-type: none"> ・設定している2つの成果指標、目標数値は妥当である。 ・成果指標がアンケート結果によるもの場合は、アンケートの母数(配布数や回収数など)の説明が必要ではないか。 ・障がい者本人の満足度に加えて、障がい者を介護している方(家族等)の満足度も成果指標に設定してほしい。 				
②施策の総合的な評価について	<ul style="list-style-type: none"> ・国の動き(法改正)については、対応できている。 ・市民の声を的確にとらえようとしている姿勢を感じる。 ・課題は明確になっており、取り組む方向性は概ね妥当である。 ・成果について、法改正への取り組みに対する評価は記述されているが、「1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績」に対する評価が記述されていない。また、評価内容が、成果指標の結果とあまり関連がなく、個別の事業の評価となっているように感じる。 				
③事務事業構成の妥当性について	<ul style="list-style-type: none"> ・公平性が保たれているか気になる。市職員や福祉関連職員の家族であれば制度を分かっており、漏れなくサービスを受けられると思うが、知らない市民が多いのではないか。 ・市民へのサービスの周知、啓蒙について、事務事業に記述されていないため、取り組んでいるのであれば記述すべきであるし、一つの事業として取り組むべきではないか。そうすることにより、成果指標である「障がい者への理解が進んでいると思う市民の割合【市民アンケート】」の結果が上がるのではないか。 				
④シート記載内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・業務委託の内容について、説明を聞かないと分からないため、もっと詳しく記述してほしい。 ・「6 施策の総合的な評価」について、成果の記述が少ない。今後の見通しを判断するためにも成果をもっと記述すべきではないか。 				
■その他					
⑤評価シートの構成・項目について	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標がアンケート結果によるもの場合は、アンケートの母数(配布数や回収数など)の説明が必要ではないか。 				

			部会名	人づくり・地域づくり		
施策No.	3-4-1	施策名	生涯スポーツの振興		施策主管課	スポーツ振興課
■内部評価について						
①成果指標の妥当性について		<ul style="list-style-type: none"> ・妥当である。 ・ただし、成人の週1回スポーツ実施率の把握方法は市民アンケートによるものであり、実態に合うような調査方法を検討すべきである。 				
②施策の総合的な評価について		<ul style="list-style-type: none"> ・妥当である。 ・ただし、スポーツ推進委員については、委員の高齢化や事業のマンネリ化が見られることから、世代交代を図り、リーダー養成をして、事業について発想の転換を図る必要がある。 				
③事務事業構成の妥当性について		<ul style="list-style-type: none"> ・妥当である。 ・体育施設は充実しているが、総合体育館等の施設が遠い場合もあり、振興センターごとに簡易なトレーニングマシン等の設備の充実を図ってはどうか。 				
④シート記載内容について						
■その他						
⑤評価シートの構成・項目について		<ul style="list-style-type: none"> ・内容は良いが、細かすぎる。たとえば岩手県の資料を参考にしてはどうか。強調すべきことは強調しており見やすく感じる。 ・施策評価シート、事務事業マネジメントシート、成果指標根拠シートが別々で、あちこち飛んでどれがどれだかわからなくなる。施策評価のシートにまとめて表示できないものか。 ・事務事業や施策それぞれの評価結果についても、全庁的に共有すべきである。 				

				部会名	人づくり・地域づくり
施策No.	4-1-1	施策名	地域づくりへの参加促進	施策主管課	地域づくり課
■内部評価について					
①成果指標の妥当性について	<ul style="list-style-type: none"> ・振興センターの利用人数が全体で30万人と示されてもわかりづらい。振興センターごとに人口が異なるし、利用実績も異なると推測されることから、施策の目指す姿を実現するうえで、振興センターごとの利用者実績を示し、振興センターごとに目標値を設定したうえで、その総計を目標値とすべきである。 				
②施策の総合的な評価について	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当である。 ・人づくり、地域づくりには、とりわけ女性の役割の強化と高齢者の生きがいづくりが大切である。 				
③事務事業構成の妥当性について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ推進事業(元気フェスティバル)については、地区によっては広すぎて、まとまりにくく、人を集めることの大変さを感じる。企画の創意工夫がさらに必要と感じる。 ・コミュニティ会議の構成団体にバラつきがあり、ある程度の統一感が必要ではないか。各種団体のコミュニティ会議への参画を図る必要がある。 				
④シート記載内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・説明を聞かないと見方がわからない。改善の余地あり。 				
■その他					
⑤評価シートの構成・項目について	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の事前送付が遅い。 ・裏表の評価シートは見づらい。 				